

日 時	令和7年12月12日(金) 13:40～14:30
学校名/機関名	栃木市立東陽中学校
対 象	1年生5クラス(139名)
講 師	青木 圭太 氏(株式会社アオキシントック 代表取締役 CEO) 奥山 浩司 氏(日本プラスター株式会社 代表取締役) 平野 和正 氏(株式会社正和 代表取締役社長) 谷中田 悟 氏(税理士法人アミック&パートナーズ 代表社員) 山村 達夫 氏(学校法人金子学園認定こども園まこと幼稚園 理事長)
内 容	<p>社会の第一線で活躍する職業人から直接話を聞くことで仕事の内容や社会貢献への理解を深め、生徒一人ひとりが自身の進路について視野を広げるきっかけとすることを目的として職業講話を行いました。</p> <p>講師は、AI技術が普及するこれからの時代において「AIの指示通りに動くのではなく、自らの意志で指示を出し、自分で考える力を持つこと」の重要性を説きました。また、仕事とは単なる「作業」ではなく、「価値を生み出し、誰かに喜んでもらうこと」であると語り、失敗を恐れずに多くのことに挑戦してほしいと生徒たちにエールを送りました。</p> <p>社会人の心構えとして、損得ではなく「正しいかどうか」で判断する、自分から挨拶をする、明るい笑顔で接する、きびきびと行動するといったことを強調しました。さらに、野村克也氏の「勝ちに不思議の勝ちあり、負けに不思議の負けなし」という言葉を引用しながら、日頃から先生の教えを素直に受け取り、良書に親しむことで、正しいものの見方を養ってほしいと結びました。</p>



